

令和6年度 輪島地区6小学校 前期 学力向上プラン

年間のゴールの姿

自分の学びをデザインする輪島っ子

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
進んで自分の学びを深めようとする力が弱い。	<p>[現状と要因]                      ○興味関心のある事には、意欲的に取り組むことができる。                      ○型にはまった言い方ではなく、自分の言葉で考えを話すことができる。                      △基礎的・基本的な力や表現力、活用力に個人差があり、難しいと判断するとあきらめてしまう。                      →教師が学習の流れや活動を決めているため、児童が自己決定する場がないため、意欲的に取り組めない。</p> <p>[根拠となるデータ]                      R5 県評価問題 算[6] 正答率 52.0% 誤答率 29.4% 無回答率 18.6%                      ※けんじさんの説明を生かして、記述する問題                      R5 県評価問題 国[3] 正答率 60.8% 誤答率 34.3% 無回答率 4.9%                      ※高橋さんの防災士としての思いや考えに着目して記述する問題                      R5 市学力調査算数正答率(無回答率) 記述問題1問                      2年…50.0% (4.4%) 3年…35.6% (17.8%) 4年…24.1% (24.1%)                      5年…32.3% (5.4%) 6年…25.5% (8.5%)</p>

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>輪島っ子スタンダード授業スタイルを基にした授業実践を行う。</li> <li>授業の中に自己決定の場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果検証「自己決定し、取り組んでいる」(児童) 80%</li> <li>実施検証「自己決定の場を設定した」 100%</li> <li>「中間評価を行い、ねらい達成のための手立てを行った」 100%</li> <li>研究授業「ねらいを達成している」 80%</li> <li>診断テスト「単元末テスト」 75%</li> </ul>	

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価項目(誰が、いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
4	<input type="checkbox"/> 児童アンケート(学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート(学担・級外 月末) <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト(適時) 75%		
5	<input type="checkbox"/> 児童アンケート(学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート(学担・級外 月末) <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト(適時) 75% <input type="checkbox"/> 検証シート(高野教諭提案授業)		
6	<input type="checkbox"/> 児童アンケート(学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート(学担・級外 月末) <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト(適時) 75% <input type="checkbox"/> 検証シート(計画訪問公開授業)		
7	<input type="checkbox"/> 児童アンケート(学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート(学担・級外 月末) <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト(適時) 75%		

前期(I期)取組の成果○・課題▲

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
能動的に話を聴くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「きき方名人」を柱に指導していく。</li> <li>自然な反応をしながら聴いている児童を評価し、価値付けていくことを教職員が大切にしていく。</li> <li>児童が安心して話せる風土を醸成する。</li> </ul> <p>※目標値肯定評価80%。児童のふりかえり調査から検証。</p>	

